

平成28年度事業報告

(平成28年1月1日～12月31日)

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の会員の現況及び実施した主な事業は、次の通りである。

第1 会員状況

(28.12.31現在)

区 分 \ 年 度	28.1.1現在	28.1.1～28.12.31		現 在 員
		入 会	退 会	
正 会 員	115	2	4	113
賛助会員	7	0	0	7
合 計	122	2	4	120

第2 主な事業

ねずみ・害虫などの有害生物の被害に悩まされている都民の生活環境から有害生物を防除するとともに必要な防疫活動を行って、衛生的で快適な生活環境を保持増進させることにより都民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、次の事業を行った。

I 公益目的事業

1 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する調査研究事業

有害生物の生態、被害状況、防除法等全般について、都レベルの調査研究を行う。調査研究は、協会の調査研究グループ技術委員会が現場調査、有害生物関係の学会の発表、会員の研究成果等の資料の収集・分析、アンケート調査等を行うことにより進めた。その成果については、都内の防除防疫業者、都民、保健所、区市町村、その他関係者に情報提供し活用を図った。

(1) 安心して任せられる防除施工

① 困難な同定業務の引き受け

都民及び保健所等から食品の異物混入等の困難な同定とその報告書の発行依頼があったときの対応について調査検討を行った。その結果、引き受けが可能であると認められる9所の害虫相談所に害虫相談事業として依頼することを決定した。

また、みなと保健所と衛生害虫の同定業務委託契約を10月に締結した。

② 海外移入及び異常発生等の有害生物の調査研究

ヒトスジシマカ等の感染症媒介蚊、ツマアカスズメバチ、アルゼンチンアリ、セアカゴケグモ等の海外から移入した有害生物、また最近異常発生したノロウイルスの変異株等について情報収集及び防除対策等についての調査研究を強化した。

(2) 害虫相談員ハンドブックの改訂

(公社)日本ペストコントロール協会が1992年に改訂版を出版した「害虫相談員ハンドブック」は、すでに23年以上も経過しているので同協会と連携して3年計画の初年度として内容の改訂を進めた。

(3) ホームページの充実及び活用

① 「害虫相談コーナー」の充実

都民からのねずみ・害虫相談の一環として、昨年度に引き続きハエ、コバエ、食品害虫、衣類害虫の防除等について調査研究を行い、ホームページに追加掲載し充実させるとともに「害虫相談コーナー」を積極的に活用するよう、都民及び会員に呼びかけた。

② 「ホームページ」の活用

害虫相談及び駆除の依頼を受けた際に都民との円滑な意思疎通が図れるように「ホームページ」に「トコジラミ仕様書作成の手引き」「PCOのためのインフォームド・コンセント」等の文書ファイルを掲載して活用した。

(4) オリンピックに向けた予備調査

東京オリンピック開催期間中に有害生物による感染症や不快害虫の発生に備えて、競技施設及び宿泊施設周辺における有害生物の害種のハザードマップの作成を検討した。

(5) 感染症対策実施計画の策定

平成26年度に編集出版した「感染症対応マニュアル」を検証した結果、感染症予防衛生隊が安全かつ円滑に活動するためには、感染症予防衛生隊の運用マニュアルが不十分と認められたので、2年計画の初年度として2類以下の感染症を対象にした実施計画を策定した。

(6) IPMの普及活動

IPMの普及活動の1つとして、東京都と協力して「ビル賃貸借契約」に、ねずみ及び昆虫の防除に必要な衛生管理、防鼠構造について定めた保守管理条項を盛り込むことを検討した。

2 **ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する知識の普及広報事業**

有害生物による被害を予防することを目的として、都民を対象に有害生物の生態と防除法等に関する知識の普及広報を図る一方、現実に被害を受け悩まされている者からの相談に応じて適切な助言・指導を行った。

(1) 害虫相談所

① 害虫相談所における相談

協会は、有害生物の被害に悩まされている都民の相談に応じるため害虫相談所を設置し、相談員及び統括責任者が無料にて電話又は現地に赴いて適切な助言、指導を行った。なお、相談者から施工の依頼があれば必要に応じて有償にて施工した。

相談所設置数 75 所

相談件数 7,993 件

●平成28年度 害虫相談件数（1月1日～12月31日）

(1) 害虫種別・月別相談件数

名 称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平成 27年	差引増 △減
ハチ類 (スズメバチ・ミツバチ以外)	8	6	11	47	114	193	477	748	560	183	28	8	2,383	2,256	127
ネズミ	158	164	145	110	132	149	120	122	175	241	260	185	1,961	1,859	102
スズメバチ	3	0	2	8	69	87	143	202	189	105	20	5	833	754	79
ハクビシン	65	59	61	47	38	52	64	37	49	83	66	56	677	586	91
樹木害虫	0	0	0	4	79	49	25	27	79	10	4	0	277	174	103
シロアリ	6	12	8	18	54	19	18	15	11	10	13	5	189	197	△ 8
ハト	1	8	8	18	34	17	24	18	18	8	5	5	164	159	5
南京虫(トコジラミ)	3	1	7	8	16	16	22	30	22	17	2	3	147	183	△ 36
鳥の巣	2	1	3	12	39	52	21	7	2	2	3	0	144	117	27
ゴキブリ	1	5	5	5	8	16	13	13	10	12	16	2	106	57	49
鳥(ハト・カラスを除く)	1	3	1	9	30	15	7	6	6	3	3	4	88	49	39
コウモリ	2	0	0	7	7	12	12	13	16	10	4	5	88	98	△ 10
ヘビ	0	1	1	1	12	27	14	14	6	6	1	0	83	60	23
ダニ	3	2	1	1	8	12	12	11	12	7	7	1	77	99	△ 22
アリ	0	0	0	2	10	12	16	7	8	5	2	1	63	85	△ 22
カラス	3	2	2	9	13	10	5	1	0	3	2	2	52	48	4
蚊	0	0	1	5	8	8	17	4	4	1	1	0	49	65	△ 16
ハエ	1	0	2	9	10	5	7	1	6	4	3	0	48	55	△ 7
タヌキ	2	2	0	3	4	1	8	4	2	2	5	3	36	25	11
ムカデ	0	0	0	1	7	12	6	3	1	2	1	0	33	17	16
殺菌	0	5	2	1	5	5	3	2	2	5	1	1	32	21	11
ミツバチ	1	0	1	5	5	2	9	4	2	2	0	0	31	5	26
モグラ	2	3	0	0	2	2	6	0	5	4	4	1	29	19	10
アライグマ	2	1	1	3	4	1	4	1	1	6	5	0	29	26	3
ネコ	1	0	3	3	5	3	5	1	2	1	2	0	26	39	△ 13
ノミ	0	0	0	0	2	2	9	4	0	4	0	1	22	16	6
タカラダニ	0	0	1	1	6	1	0	0	0	0	0	0	9	23	△ 14
シバン虫	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	4	8	△ 4
死体臭	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4	2	2
キクイムシ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	4	△ 2
ユスリカ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
シラミ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	5	△ 3
ウジムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△ 1
汚水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△ 1
その他	1	5	10	8	11	19	17	17	20	31	4	3	146	156	△ 10
不明	6	5	7	8	15	23	11	24	17	18	15	8	157	150	7
合 計	272	286	284	355	747	823	1,097	1,339	1,226	787	478	299	7,993	7,419	574

(2) 相談者住所別件数

千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区	目黒区
70	63	199	143	176	86	121	148	140	189
大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区
279	271	185	186	85	141	69	82	459	38
足立区	葛飾区	江戸川区							
215	140	377							
八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	昭島市	調布市	町田市	小金井市
262	38	154	134	125	247	88	312	627	267
小平市	日野市	東村山市	国分寺市	国立市	福生市	狛江市	東大和市	清瀬市	東久留米市
260	107	88	106	173	38	66	49	158	32
武蔵村山市	多摩市	稲城市	羽村市	あきる野市	西東京市	奥多摩町	檜原村	日の出町	瑞穂町
2	227	25	20	23	129	3	4	35	36
不明	他県								
244	52								

② 「区民まつり」等における相談

多くの区民（住民）が集まる区民まつり等に積極的に参加し、来場した区民（住民）から害虫防除の相談等を受けて適切な助言・指導を行った他、防除知識の普及を図った。

会 場

西東京市環境フェスティバル、府中環境まつり、調布市環境フェア、羽村市環境フェスティバル、東大和市環境市民の集い、環境フェスティバル（新宿駅前催し広場）、きよせの環境・川まつり、こだいら環境フェスティバル、みなと区民まつり、むさしの環境フェスタ、中央区健康福祉まつり、日の出産業まつり、町田市総合健康づくりフェア 等13所

③ ねずみの防除指導等

武蔵野市から「ねずみ侵入防止対策」事業を受託して、市民を対象にねずみの防除知識及び防除方法等についての講演会、現場調査及び簡易な防除施工等を行った。

④ リーフレットの作成及び配布

有害生物の生態及び防除方法等に関する内容が平易に記載されているリーフレット（シラミ、シロアリ、ダニ、ゴキブリ、ネズミ、ハチ、蛾の仲間、アリと甲虫類、カビ、ドバト、蚊、トコジラミ等12種）を印刷して保健所及び区市町村に配布し、害虫相談に訪れた都民の指導用の資料として活用してもらった。併せて「区民まつり」等で区民（住民）に配布し、害虫相談及び防除知識の普及に活用した。また、ホームページに掲載して広く情報を提供した。

規模 20,000部

(2) 第8回ペストコントロールフォーラム東京の開催

有害生物に関する学識経験者、行政の担当者等を講師に、行政担当者、施設・学校等の職員、一般都民、会員等が参加するフォーラムを開催した。

有害生物の防除、感染症の流行の仕組み及びその対策等についての知識の普及を図り、良好な生活環境を維持向上させることを目的としている。なお、感染症予防衛生隊研修及び害虫相談員の選択研修を兼ねた。

開催月日 6月28日（火）

会 場 武蔵野公会堂

参加人数 162名（一般30名、行政28名、会員104名）

演題及び講師（敬称略）

(1) 東京都におけるアライグマ・ハクビシン対策の実施状況等について

東京都環境局自然環境部 高木章雄、大辻麻梨乃

(2) 中南米を中心に流行しているジカウイルス感染症とは

国立感染症研究所昆虫医科学部 沢辺京子

(3) 機関誌の発行

有害生物の防除防疫に関する専門的な知識及び技術等に関する話題について掲載し、東京都・区市町村、保健所、国会図書館、都内公立図書館、正会員、賛助会員、業界関係者等に無料配布し防除防疫知識の普及を図った。またホームページにも掲載し広く情報提供した。

規模 700部、年2回発行

特集と一般都民向け記事

2016年1月号 特集 調査研究事例

都民の広場 特定外来生物「ツマアカスズメバチ」の侵入

質問の窓 昨年デング熱が出なかったのは？ どうして

2016年7月号 特集 蚊媒介性感染症をめぐって

都民の広場 都ペストコントロール協会は

感染症媒介蚊対策にどう取り組んでいるか

質問の窓 デング熱騒動の時に

PCOの方たちは何をしていたのですか？

3 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する技術の向上

有害生物の防除及び防疫活動の従事者等を対象に、専門家として必要な最新の知識及び技術を修得するための研修会を開催した。

(1) 第36回防除作業従事者研修会

協会員及び協会未加入の防除防疫作業の従事者、保健所及び区市町村の職員、都民等を対象に開催した。協会は建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第29条第4号口に規定する防除作業従事者研修登録機関として厚生省に登録し、かつ講師についても登録している。防除防疫作業に必要なレベルの内容について研修した。受講料は1人6,480円。防除防疫従事者以外の受講者は無料。

開催月日 6月13日

会 場（公財）日本環境整備教育センター

受講者数 139名（会員78名、非会員32名 行政29名）

カリキュラム

(敬称略)

第1時限	建築物の環境衛生行政	東京都健康安全研究センター広域監視部 建築物監視指導課建築物衛生係 統括課長代理 和田 俊和
第2時限	殺鼠剤の種類と使用方法	環境機器株式会社 営業支援室長 足立 行男
第3時限	殺虫剤の種類と使用方法	環境機器株式会社 営業支援室長 足立 行男
第4時限	機械器具の種類と使用方法	鵬凶商事(株) 営業支援業務チーム リーダー 足立 雅也
第5時限	防除作業の安全管理	(公社) 東京都ペストコントロール協会 理事 谷川 力
第6時限	カ・チョウバエ	(公社) 東京都ペストコントロール協会 技術委員 佐々木 健
第7時限	ゴキブリ	(公社) 東京都ペストコントロール協会 技術委員 小松 謙之

(2) 害虫相談所研修会

害虫相談所統括責任者及び相談員を対象に最新の防除知識及び技術の修得と併せて、相談者からのアンケート結果を基に害虫相談所の適切な運営を図ることを目的として研修会を開催した。

実施時期 12月20日 (火)

相談所数 74所

受講者数 統括責任者 77人 (3所が統括2人配置)

相談員 92人 (他に8人がすでに2科目受講済み)

カリキュラム

(敬称略)

第1時限	平成28年度害虫相談所報告 (相談件数、アンケート、苦情、その他)	相談所委員長 藤田 洋三
第2時限	保健所と衛生動物 — 最近の話題 —	池袋保健所 矢口 昇
第3時限	ホームページ「害虫相談コーナー」の紹介 ハエ コバエ 食品害虫 衣類害虫	調査研究グループ技術員 委員 木村 悟朗 委員 木村 悟朗 委員 峯岸 利充 委員 佐々木 健
第4時限	インフォームド・コンセントについて	副会長 清水 一郎 技術委員長 谷川 力 同副委員長 元木 貢

(3) 感染症予防衛生隊の研修

① 東京都が実施する感染症媒介蚊サーベイランス事業のうち「蚊の捕集装置の設置、回収及び捕集した蚊(検体)の搬入」の業務を受託して研修を行った。

i デング熱・チクングニア熱媒介蚊サーベイランス (4月18日～11月11日)

(重点サーベイランス)

イベント等で多くの人が訪れる公園 代々木公園等9公園

デングウイルス保有蚊モニタリング (12回)、発生密度調査 (2回)、

幼虫発生調査 (8回) 合計延べ198回

- ii 感染症媒介蚊サーベイランス（6月13日～10月28日）（広域サーベイランス）
16公園等 合計延べ160回
- ② 衛生隊員の知識の向上及び安全の確保を目的に10月14日（金）にアルカディア市ヶ谷
で実施した。
受講者数 48人

カリキュラム

（敬称略）

第1時限	感染症対策の心構え	国立感染症研究所客員研究員 杉山 和良
第2時限	ノロウイルスとその消毒	国立医薬品食品衛生研究所 野田 衛
第3時限	感染症対策防護服の安全な 着脱（実習）	アゼアス(株) 岩城 眞我

4 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫活動

(1) 感染症予防衛生隊の活動（感染症予防衛生隊 23社）

都、区市町村、東京消防庁等の行政等からの要請により、感染症予防衛生隊が出動し、感染症の発生予防及びまん延防止のために殺虫殺菌消毒薬の散布作業を行う。

感染症予防衛生隊担当の理事を中心に速やかに出動できる体制を整えている。

また、東京都福祉保健局から蚊が媒介する感染症サーベイランス事業における「蚊の捕集装置の設置、回収及び捕集した蚊（検体）の搬入」の業務を受託している。

現在協定、契約を結んでいる行政等は次のとおりである。

① 東京都福祉保健局との協定

i 「一類感染症等患者移送車両等の消毒業務に関する協定」

平成26年11月5日に締結。従前の2協定（SARS患者の移送車両等の消毒、新型インフルエンザ（豚インフルエンザ（H1N1）患者移送車両等の消毒）を統合。消毒業務に対する協会の協力に関する協定。消毒範囲は患者移送後の搬送車、航空機、移送用陰圧装置（アイソレータ）並びに病原体に汚染された（疑いのある）場所。

ii 「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成22年3月26日に締結。ウエストナイル熱等の蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力に関する協定。

② 東京消防庁との協定

「救急車等の消毒業務に関する協定」

平成16年3月29日に締結。搬送患者を拡大して平成24年12月1日に一部改正。感染症の疑いのある患者を搬送した救急車等の消毒業務の実施に関する協定。

③ 特別区との「感染症消毒作業委託契約」（区の事情により年度ごとに契約区数が異なる。）

区からの要請により感染症の患者発生宅等の消毒業務を行う。

④ 台風、集中豪雨等による洪水、地震等の災害発生時の消毒作業

新宿区、港区、中野区、渋谷区、目黒区と協定・契約

⑤ 武蔵野市との協定

「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成27年3月31日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力に関する協定。

(2) 輸入動物の届け出制度に係る東京検疫所に対する協力

東京検疫所の要請により平成17年10月20日に協定を締結。

動物由来の感染症の国内侵入防止のため、旅行者が輸入する動物のうち、輸出国政府機関の衛生証明書のない動物を本人の承諾のもとに早急に殺処分する。

5月31日（火）にハリネズミ1匹を炭酸ガスによる安楽死処分を行った。

II 収益事業等（その他の事業）

1 ブロック会の開催

協会活動の充実と発展を目的に、協会執行部と会員の意見交換、連絡、会員間の情報交換の他、防除防疫に必要な最新の薬剤、資器材、感染症等に関する研修等を行った。

10月19日（水）5ブロック合同で開催。

参加者人数 63名（正会員 29社48名、賛助会員5社13名、事務局2名）

2 団体賠償責任保険加入事務等

会員が施工する有害生物の防除及び防疫業務に伴うリスクをカバーする保険（請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険）に団体加入する事務続きを行った。

加入会員 51社

3. 創立50周年記念事業費積み立て

平成30年に協会の創立記念事業を実施するための費用を積み立てた。

III 管理運営事項

1 理事会の開催

定款に定める事項、総会の議決した事項の執行に関する事項、総会に付すべき事項、その他会務の執行に関する事項等について会議を開催し議決した。

規 模 年9回開催

開催月日	主 な 議 題	会 場
1月27日 (第1回)	・平成27年度事業報告（案）、収支決算報告、監査報告 ・平成28年度害虫相談所設置承認	アルカディア市ヶ谷
2月8日 (第2回)	・理事会提案の役員（理事・監事）候補者の決定	見做し理事会
2月24日 (第3回)	・役員（会長、副会長、専務理事）の選定	アルカディア市ヶ谷
4月6日 (第4回)	・平成28・29年度理事会組織 ・入会審査	
5月18日 (第5回)	・感染症媒介蚊サーベイランス事業の受託と研修 ・技術委員の委嘱	
6月22日 (第6回)	・合同ブロック会の開催 ・入会審査	

開催月日	主 な 議 題	会 場
9月8日 (第7回)	・感染症対策実施計画の策定(2類以下の感染症) ・防除作業従事者研修会指導者講習会	アルカディア市ヶ谷
10月19日 (第8回)	・実施計画による感染症予防衛生隊の研修 ・東京都外来鳥獣防除対策検討委員会委員	
11月16日 (第9回)	・平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案) ・多摩市との蚊の駆除業務等に関する協定	

2 総会の開催

定款に定める事項、事業計画、事業報告、その他協会の運営に関する重要な事項について会議を開催し議決・承認した。

第9回通常総会

開催日 平成28年2月24日(水)

会 場 アルカディア市ヶ谷

議 題 ・平成27年度事業報告の件
・平成27年度収支決算承認の件
・監査報告の件
・役員改選の件

第10回通常総会

開催日 平成28年12月20日(火)

会 場 (公財)日本環境整備教育センター

議 題 ・平成29年度事業計画の件
・平成29年度収支予算決定の件

3 事業活動

理事会に、総務グループ、調査研究グループ及び都民サービスグループを設置して活動案を作成し、理事会の承認を得て協会の事業を執行した。